

質問順		第540回 令和6年12月定例会 一般質問通告一覧表			富士見町議会
順番	議席	質問議員	質問事項	質問要旨	答弁者
1	3	矢島 尚	(1) 町有地の維持管理について	① 町有地内において、支障木や危険木などの確認をしているか。また被害が発生した際には迅速に対処しているが、予防の必要性を感じる。加えて、間伐や伐採を要望する声もあるが町の考えは。	町長
				② 現在、活用されていない町有地について、今後、宅地造成すれば移住希望者の宅地として利用できる町有地はないか。定住支援から、その土地を購入希望者へ売却することはできないか。(区加入原則)	
				③ 信濃境の町営・公営住宅は4～5年で1棟ずつ、取壊しが行われているが、町はその町有地を将来的に、どのように利活用するのか。	
		(2) 2大リゾート無料キャンペーンについて	① 無料キャンペーンは、いつまで続けるのか。今後の無料キャンペーンの対象者と展開方法は。	町長	
			② 無料キャンペーンを始めてから今期まで、お越し頂いた方々の実際の目的を検証したか。		
			③ コロナも5類になって2年、無料に対するインパクトはあるが、次への施策の必要性を感じる。無料以外の新たな観光強化の考えは。		
		(3) 防犯カメラ設置について	① 一昔前に比べ考えられない犯罪が多い中、町内主要箇所への防犯カメラ設置が必要不可欠な時代だと思うが町の考えは。	町長	
2	10	西 明子	(1) 令和7年度町長方針の基本方針について	① ③「女性・若者に選ばれるまちづくりの推進」④「将来を見据えた財政基盤の強化」を加えた理由は	町長
				② ③④の追加により、財政シミュレーションを踏まえ、見直される事業や新規事業計画が策定されていくと思うが、どのようなスケジュールで進めるか。	
				③ 団体や個人への補助金等の公平性・透明性の確保や効果的な運用の効果検証は行われているか。補助金等に関する基本指針策定の考えは。	
		(2) 「富士見町地域防災計画」「長野県地震災害防災強化アクションプラン」に基づいた避難所運営について	① 一次避難所、二次避難所、福祉避難所の運営主体は。	町長	
			② 高齢者、障がいのある人、女性、子ども、外国人、性的マイノリティなどの特性に配慮し、避難所での生活環境を整える準備は。		
			③ 避難所のTKB(トイレ・キッチン・ベッド)の備えは。		
			④ 避難所運営にあたり、内閣府男女共同参画局ガイドライン「災害対応力を強化する女性の視点」に基づく具体的な取組と課題は。		

質問順		第540回 令和6年12月定例会 一般質問通告一覧表			富士見町議会
順番	議席	質問議員	質問事項	質問要旨	答弁者
3	6	渡辺 葉	(1) 「富士見町子ども未来プロジェクト会議(仮称)」の設置について	① 本会議体を来年度設置する理由、目的、各段階の検討方法と想定年月は。	教育長 町長
				② 委員構成、開催時間、託児・公募枠・傍聴の有無は。委員以外の住民への情報発信・意見収集・方針への反映方法は。	
				③ 前提条件に出生数の低下とあるが、社会増が大きい富士見町では各小学校1年生の児童数を基準とし、学区別の児童数の増減傾向も会議資料に含むべきでは。	
				④ 前提条件に「建物の老朽化の問題」とあるが、劣化状況調査の実施結果や、3校の長寿命化改修と他公共施設との複合化を組み合わせ初期投資を最小化するなど、統廃合と新設/改築以外の国財有効活用の選択肢について資料に含むか。	
				⑤ 「小学校の統廃合は全くの白紙」であれば、住民の不安を払拭するために町公共施設計画等から統廃合案(仮)を削除すべきでは。	
				⑥ 住民と町が共に作る教育理念は、環境・方法の検討に入る際に財政・建物・児童数等の条件で覆されることはないのか。	
		(2) 超少子化時代における教育理念について	① あるべき子どもの姿はひとつなのか。ひとりひとりのその子らしさを伸ばす教育の場を、地域環境/文化を活かし地域と共に支える発想はあるのか。	教育長	
			② 前提条件の「各学校1クラス時代」の町におけるメリットデメリットを言語化する必要がある。小規模特認校制度を導入し、小規模校について全町的に知る機会を作り、地域特性を活かし多様な意見に触れる機会を作ることができるか検証すべきでは。		
			(3) 地域の核としての学校の部局横断的な在り方検討について	① 住民懇で町長の発言もあった、地域の核としての学校の在り方に関する話し合いは、いつ、誰と、どのように行われるのか。	町長
② 旧落合小を第一次避難所とする集落もある中、町公共施設計画では2046年度の解体が予定されている。廃校後の避難所の維持管理・財源確保の計画は。					
③ 望ましい学習環境をつくり、施設整備全体のコストの最適化を図るには、教育部局と首長部局の分野横断的な検討体制構築の重要性が国の審議会などでも指摘されているが、町の考えは。					
4	1	織田 昭雄	(1) 都市計画道路の見直しについて	① 都市計画は道路だけでなく町づくり全体を含めた総合的な計画と思うが、今後の町中心部の整備計画をどう考えていくのか。	町長
				② 現行の町道や県道の歩道整備を含め、都市計画道路廃止後の整備計画について、どう考えているか。	
				③ 国土強靱化計画に基づく町内主要幹線道路の整備が終了した後、富士見駅前の県道や各集落内の生活道路の整備、補修をどう考えるのか。	
		(2) 里山整備事業について	① 有害鳥獣対策と里山整備は密接に関係していると思うが町はどの様に考えるか。	町長	
			② 相続した山林や里山について、地主が町外に居住しているため管理が行き届かず、荒れ放題で地元行政区でも方策に苦慮している話を聞きく。こうした荒廃里山や山林の整備促進策を考えられないか。		
			③ 山へ行こう事業も継続して管理しなければ、2年もすれば元に戻り意味がないと思う。効果が持続するような方策を検討すべきと思うが、この事業の効果検証はしているか。		

質問順		第540回 令和6年12月定例会 一般質問通告一覧表			富士見町議会
順番	議席	質問議員	質問事項	質問要旨	答弁者
5	9	小倉 裕子	(1) 部活動がもつ「人間力」を育てる力について	① 義務教育の目的の一つに「人間力」を育てることが掲げられている。その意味で部活動が持つ役割は大きいと思うが、町の考えは。	教育長
				② 今年度から保護者への説明が始まった「中学校部活動の地域移行」について、町の考えと対応は。	
				③ 部活動の地域移行に伴うメリット・デメリットは。	
				④ 送迎や活動費の負担など、保護者が新たに抱えるリスクに対する対応策についてどのように考えるか。また、地域移行に伴い、活動に参加できなくなる子どもが出てくるのではないかと懸念されるが、町の考えは。	
		小倉 裕子	(2) 今後の一般社団法人富士見パノラマリゾートの運営について	① 平成14年の上下分離方式による施設買取りの判断は、当時、苦渋の判断だったと理解しているが、振り返ってみて、その判断は正しかったと考えられるか。	町長
				② 町民の忍耐強さと底力があってこそ、現在の状況があると思うが、町民の来場者数の推移は。	
				③ 町民は最高の宣伝大使である。富士見パノラマリゾートの魅力をさらに高め、誇りを持って町内外へ発信できるような取り組みが必要であると思うが考えは。	
				④ H14年の破綻の危機から22年が経過している。この間、紆余曲折はあったが、高いポテンシャルを持っている施設である。もう1ランク上へ引き上げる時期が来ていると思うが考えは。	
				⑤ 運営に欠かせないのは、職員のモチベーションの維持向上だが、何を意識し取り組んでいるか。また、進むべき方向が適切に示され、皆が同じ方向を向いているか。	
				⑥ 観光戦略及び施設管理計画についての進捗は。	
6	2	山口 肇	(1) 11月に開催された子どもの意見を聞く「クレープ作り&まちトーク! ワークショップ」について	① 実施されたワークショップの様子や出された印象的な意見は。	教育長
				② 9月議会で教育長は、「参加してよかった」と感じられるワークショップにしたいと話したが、そのような会になったのか。また、来年度施策に反映できそうな意見はあったか。また、参加者への報告はどのようにするのか。	
				③ 来年度以降のワークショップの開催予定は。	
		山口 肇	(2) 「こども計画」について	① 不登校や児童虐待、生活保護や就学援助を受ける家庭数は、全国的に増加している。富士見町の現状は。	町長 教育長
				② 今回実施したアンケートから見てきた子育て家庭の課題は。	
				③ アンケートの中に、「給食費の保護者負担の軽減」「フレンドリー教室の支援員配置」についての要望はあったか。	
				④ 「こども計画」を住民に説明し、周知を図る予定はあるか。また、その方法は。	
		山口 肇	(3) 中学校の部活動の地域移行について	① 原村との合同による休日部活の地域移行の現状は。	教育長
				② 原村との合同部活や地域移行に対して、中学生はどのような希望や意見をもっているか。生徒アンケートから見てきた課題や可能性は。	
				③ 地域移行を進めるにあたって、平日の部活動の課題は。	
				④ 部活動に対する子どもたちから寄せられた意見は、今後どのように活かされていくのか。	

質問順		第540回 令和6年12月定例会 一般質問通告一覧表			富士見町議会
順番	議席	質問議員	質問事項	質問要旨	答弁者
7	5	牛山 吉彦	(1) 集落課題の解決に向けた取り組みについて	① 区への加入率を上げるために、区民も町と一緒に取り組もうという意見が出るなど【協働】の気運が高まりつつあるが、町の考えや取り組みは。	町長
				② 小集落支援として複数集落で区役員を兼務するなど【連合】対応の検討を始めるべきだと考えるが、町の姿勢と関わり方は。	
				③ 区役員の負担軽減として町への申請書類等の効率化・DX化が早急に必要と思われるが、現状と今後の取り組みは。	
		牛山 吉彦	(2) 新年度基本方針と予算査定の進め方について	① 令和7年度町長方針の《基本方針》が前年より項目が増えているが、具現化のための予算配分方針は。	町長
				② 新たな方針に基づき事業を展開していくためには既存事業を見直すなど【選択と集中】が必要だが、町の考えは。	
				③ 予算査定の現状課題と、新規事業を完遂させるために必要な改善点などをどう捉えているのか。	
		牛山 吉彦	(3) 施策策定のための委託形態のあり方について	① 各種基本計画等の策定にコンサル委託をしているが、現状の評価と課題は。	町長
				② 人材育成や予算削減のためにも、町が主導して計画を策定する形態を検討すべきでは。	
				③ 施策ごとのコンサルは必要だが、施策全体や行政のあり方に対するコンサルを採用する考えは。	
8	7	名取 久仁春	(1) 森林整備事業について	① 里山整備事業の進捗について、年度毎の整備地区と面積及び事業費の概略は。	町長
				② 森林造成事業の進捗について、年度毎の整備地区と面積及び事業費の概略は。	
				③ 間伐対策事業のこれまでの活用状況は。	
12月 2日(月) 5名 1番 ~ 5番 3日(火) 3名 6番 ~ 8番					